



第21回日本少年野球

ミズノ旗争奪九州選抜大会福岡県南支部予選
兼ジャイアンツカップ A 地区予選



BOYS LEAGUE

開催日 2025年3月22(土)・4月5日(土)・6日(日)

予備日 2025年3月23日(日)・4月12日(土)

球場 オクゼン不動産ベースボールスタジアム

雁の巣球場・雁の巣硬式第一野球場

吉井スポーツアイランド野球場・あんずの里運動公園野球場

大会役員

大会委員長	崎村直也	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	支部長
大会副委員長	薄鍋貴幸	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	副支部長
〃	梶原辰次	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	支部理事
〃	村上清憲	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	行事委員長
〃	畝俊介	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	支部会計理事
大会審判委員長	真崎守弘	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	審判委員長
大会審判長	白濱仁志	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	審判長
大会運営委員	吉永秀伸	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	九州古賀ボーイズ
〃	寺田匡伯	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	福岡志免ボーイズ
〃	末宗太郎	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	福岡中央ボーイズ
〃	今村花子	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	福岡粕屋ボーイズ
〃	井川英也	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	福岡春日ボーイズ
〃	古川謙太郎	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	二日市ボーイズ
〃	西田貴弘	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	福南ボーイズ
〃	栗野泰行	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	朝倉ボーイズ
〃	古賀秀樹	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	浮羽ボーイズ
〃	山田陽三	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	福岡大野城ボーイズ
〃	黒岩剛史	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	久留米中央ボーイズ
〃	西郷浩信	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	篠栗ボーイズ
〃	武田健	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	糸島ボーイズ
〃	池山正	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	筑後ボーイズ
〃	近藤義秀	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	久留米東ボーイズ
〃	咲本修	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	福岡西南ボーイズ
〃	谷口恵子	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	西福岡ボーイズ
〃	高原正臣	公益財団法人	日本少年野球連盟	福岡県南支部	九州福岡東ボーイズ
総務運営委員	簗原春美、末次宏美				

歴代優勝チーム

2005	第 1回	福岡ニュースターズ	
2006	第 2回	福岡スラッガーズ	
2007	第 3回	福岡ニュースターズ	
2008	第 4回	春日ビックスターズ	
2009	第 5回	福岡ニュースターズ	
2010	第 6回	福岡スラッガーズ	
2011	第 7回	糸島ボーイズ	
2012	第 8回	福岡中央ボーイズ	
2013	第 9回	糸島ボーイズ	
2014	第 10回	糸島ボーイズ	
2015	第 11回	福岡中央ボーイズ	九州選抜優勝
2016	第 12回	糸島ボーイズ	(熊本地震)
2017	第 13回	糸島ボーイズ	
2018	第 14回	糸島ボーイズ	
2019	第 15回	糸島ボーイズ	
2020	第 16回	中止	(コロナ)
2021	第 17回	福岡ボーイズ	
2022	第 18回	福岡ボーイズ	
2023	第 19回	糸島ボーイズ	
2024	第 20回	福岡西南ボーイズ	

第21回日本少年野球

九州選抜大会福岡県南支部予選

兼ジャイアンツカップ支部予選を応援しています！

子供達のための活動資金作りのお手伝いをいたします。



ガッツ溢れるプレーで感動を
見せてください！！
物品販売の事なら
松和物産(株)へ



薩摩土産商社
松和物産
SHOWABUSSAN

〒891-0115 鹿児島市東開町13番23
TEL 099-260-6300
FAX 099-260-6301

【大会観戦時の注意事項】

＝撮影と SNS 投稿の注意事項＝

当連盟所属チームの選手・関係者を撮影されます際には、被写体となる方の肖像権にご配慮頂き、個人が特定されるような方法で撮影されないようにお願いします。
また、撮影は手持ち撮影のみとし、三脚の使用や球場設置物(フェンスや柱など)へのカメラの固定は禁止致します。

試合内容を SNS などで公表される際には、選手・関係者の肖像権及びプライバシーにご配慮いただき、これらの無断公表とにならないようにお願いします。

- ・ボーイズリーグでは入団時に肖像権の承諾書をお願いしています。
- ・ボーイズリーグ制作の各種動画および試合のライブ配信並びに写真・記事・コメントなどを公式 SNS(連盟・ブロック・支部)掲載により、公開されることについて承諾をいただいています。

詳細は福岡県南支部 HP (<https://www.boys-fukuoka.com>)「撮影と SNS 投稿の注意事項」に掲載

＝応援の際の注意点＝

メガホンやバルーンスティック等をしようしての応援は連盟主催大会、ローカル大会ともに禁止です。応援歌も禁止とします。

応援は、拍手・声援のみとします

【 OK 行為 】

- ・ ボーイズリーグ（ブロック・支部含む）公式アカウントの投稿を、リポスト（再投稿）やリツイート機能を使用して共有

【 NG 行為 】

- ・ ボーイズリーグ（ブロック・支部含む）公式アカウントが投稿した画像・動画を保存して、自分のSNS に投稿
- ・ サイト内の画像や動画をスクリーンショットなどで保存して、自分のSNS に投稿
- ・ ボーイズリーグの著作物を利用してグッズを作成
- ・ YouTube など公開された試合や動画を、スクリーンショットや録画をしてSNS に投稿
- ・ テレビ番組やDVD などの映像作品、新聞・雑誌・写真集などの中面の写真を撮影して、SNS や動画投稿サイトに掲載
- ・ ボーイズリーグが主催する試合やイベントの様態を盗撮・盗聴して、自分の SNS に投稿したり映像を売買する行為
- ・ ボーイズリーグが主催する試合やイベントの映像を録画して自分のSNS に投稿
- ・ ボーイズリーグの所属する選手を許可なく撮影して、その写真をSNS に投稿
- ・ ボーイズリーグニュースの無断転載

このサイトに掲載されている著作物はすべてにおいて無断で転載、加工などを行う事を禁じます。

公益財団法人日本少年野球連盟 大会規定

1. チームの登録選手 中学生の部は 11 名以上 25 名以内(ベンチ入りは 20 名以内)とする。
2. 出場選手はその大会の登録締め切り日現在連盟への登録済みの者に限る。
3. 審査証は当年度発行のものとする。
4. オーダー表記入選手 20 名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、スコアラーのみベンチに入ることが出来る。但し、チーム責任者、監督、コーチ、選手は登録証を携帯すること。携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
5. 組み合わせの若番号が 1 塁側のベンチ、後番号が 3 塁側のベンチに入る。
6. 監督(背番号 60)、コーチ(背番号 50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
7. 試合開始時刻 60 分前までに試合球場に到着し、直ちにオーダー表 5 部、投球回数記録副表 3 部、大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
8. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
10. 試合方式など
・中学生の部
(1) **各試合は 7 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。**

試合成立後は全て試合開始から 2 時間を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間に達すれば、その時点で試合を終了する)。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。

試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。

- (2) 4 回終了時(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4 回表終了時) 10 点差、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
- (3) 7 回終了後、同点の場合はタイブレーク方式を実施する。**試合開始から2時間を超えては新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。**(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
11. ・中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。
 - (1) 1 日最大 80 球とし、連続する 2 日間で 120 球以内とする。連続する 2 日間で 80 球を超えた場合は、3 日目は投球を禁止する。また 3 連投(連続する 3 日間)する場合は 1 日の投球数を 40 球以内とし 4 連投(連続する 4 日間)は禁止する。
 - (2) 大会中は 1 日 80 球以内とし、翌日投球を休めば 3 日目は 80 球の投球を可とする。
 - (3) (1)~(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
 - (4) 連続する 2 日間で 80 球を超えた投手、並びに 3 連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
 - (5) ボークは投球数としない。
 - (6) 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
 - (7) 2 年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

・共通事項

- (1) ダブルヘッダーの場合で、2 試合に登板した時は連続 2 日間投球した事とする。

また、1 試合のみ登板した場合は、1 日の投球とする。

12. (1)監督またはコーチの指示は 1 試合で攻撃 2 回と守備 2 回の計 4 回とする。

延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで 1 回の指示を認める(選手の怪我や交代などの指示は回数に入らない)

- (2)守備側の投手に対する指示が 3 回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。

- (3)内野手(捕手を含む)が 2 人以上投手のところに行った時も 1 回に数える。

- (4)監督、コーチが指示を与える時間は、審判員がタイムと宣告してから30秒以内とする。守備側がマウンドへ行く場合は駆け足で行くこと。

13. 1 イニングで同一の投手に対して指示が 2 回目となれば、自動的に投手の交代となる。

その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニング入れば、再び投手として登板することができる。

14. 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。

15. 監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
16. 2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
17. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
18. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
19. 各チームは同色のヘルメット 7 個以上、捕手の規定防具【マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファウルカップ(一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く)】2 組を備えること。
20. ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
21. 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
22. グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
23. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
24. 試合前のシートノックは原則として 5 分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

参考

野球規則 7.01 (4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

<タイプブレーク実施細則>

(1) 特別規則

(イ) 中学生の部は7回あるいは試合開始から2時間を超えて、(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。

(ニ) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出した 3 走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出した 3 走者の出の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した 3 走者を絡めた打点、併打などは全て記録する

【補足事項】

1.ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した時は連続2日間投球した事とし、また、1試合のみ投球した場合は、1日の投球とする。

◎投球制限ガイドラインの補足説明

(1)③について

打者の途中で制限が来た場合とは、投球日における可能投球数の事である。

中学レギュラーの部を例にすると、初日に於いては80球を超えた場合であり、また、初日68球投げた連投2日目であれば、2日目の可能投球数52球を超えた最後の打者に適用される。

投手に3連投を予定していた場合には、初日、2日目に40球を超えると3日目は投げることができない。初日、2日目に於いて打者の途中であっても40球投げた時点で交代しなければ、3連投できない。41球投げれば3連投できない。(打者の途中で投手の交代は制限していない)

第21回日本少年野球

九州選抜大会支部予選兼ジャイアンツカップA地区大会支部予選

開催おめでとうございます!

TAKUMI



※お酒ラベルイメージ

真面目で正直な物品販売の会社です。

各々、ご要望に沿ったきめ細やかなご対応を心がけております。

LINEからでもご質問やお問い合わせを受け付けております。

LINE公式アカウント

@170rwehn

※@からご入力お願い致します
二次元コードからも登録できます



産直食品取扱
(株)ちくしの郷・匠 TAKUMI

LOVE & FRESHNESS DELIVERY

〒811-1245 福岡県那珂川市別所379-19

TEL : 092-952-8871 / FAX : 092-952-8850

E-mail : m-takumi@guitar.ocn.ne.jp

ホームページ : <https://chikushinosato-takumi.com>

福岡県革新企業承認 第3890号



第21回 日本少年野球 九州選抜大会福岡県南支部予選兼 ジャイアンツカップA地区大会予選

第21回九州選抜支部予選

大会選抜入力ウェブサイト



期日 2025年 3月22日(土)・4月5日(土)・6日(日)
 予備日 3月23日(日)・4月12日(土)
 開会式 3月22日(土) 吉井アイランド野球場
 選手宣誓:九州古賀ボーイズ 中島 権信 主将

